

## 100101映画製作・配給業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	3	16～17	事務所の自席でデスクワーク中、足を組んで座っていたため左足が痺れている状態で椅子から立ち上がったところ、左足首をひねって倒れて、左足首骨折、指の靭帯損傷を負った。	40	2	921	100～299
2	2020	6	15～16	駅より撮影現場へ向かう途中、7kgの機材を台車に載せて運搬していたところ、腰の左側をひねり、腰部に捻傷を負った。	27	19	611	100～299
3	2020	6	11～12	磯場で撮影中、足を滑らせカメラとともに約5mの岩場に転落、頭を強打して海上に流された。その際、ライフジャケットを着用していたものの、うつ伏せ状態で救助され、病院搬送後死亡が確認された。	51	1	711	1～9
4	2020	8	4～5	漁港の側道で、撮影準備を終え、出演者と打ち合わせ中、朝早く暗かったため、3m下の浜に転落し、胸椎多発骨折を負った。	43	1	418	50～99
5	2020	9	10～11	公園にある風車施設にドラマ撮影用のケーブルを敷設し、手すりのない急な階段を下りるときに、朝露で靴が濡れていたこともあり足を滑らせ落下した。その際、階段の段差に右足踵を強打して骨折した。	39	1	413	10～29
6	2020	9	15～16	ゴルフ場の坂道を下りる際、足が止まらず小走りになり、くぼみに左足をひねり捻挫を負った。	27	3	417	30～49

7	2020	10	18 ～ 19	撮影業務中、お手洗いで業務に戻る途中、凸凹の多い（老朽化）コンクリートの路面を走ったところ、凹凸につまずいて転倒し、右膝関節を捻挫し、右腓腹筋肉離れを発症した。	51	2	417	～ 29
8	2020	10	11 ～ 12	演劇施設で、演目上映中、殺陣シーンの際、左足踝を腓骨骨折した。	23	19	921	300 ～ 499
9	2020	11	11 ～ 12	仕込みが終わりリハーサルのため、ルームに向かう途中、シーリングの入口にかなり高めの段差があった。その下りる道が想像以上に斜めだったため、下りたらすぐ着くはずの場所に足がつかず転倒し、足を骨折した。	51	2	417	50 ～ 99
10	2020	11	23 ～ 24	仮眠室の2段ベッド上段のシーツを整えていたときに転落し、左半身を床で強打して、多発肋骨骨折、血胸を負った。	39	1	419	500 ～ 999

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。